

教科目名 工業英語Ⅱ (Technical English I)

学科名・学年 : 機械工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ○科目)

単位数など : 選択 1 単位 (後期 1 コマ, 学習保証時間 23.25 時間)

担当教員 : 菊川 裕規

授業の概要			
世界の共通言語としての英語の役割は、ますます重要になっている。英語が得意・不得意にかかわらず、英語でプレゼンテーションをする機会は誰にでもある。そこで、国際学会で研究発表できることを目標に、英語でのプレゼンテーション表現について学ぶ。実際のプレゼンテーション例を始め、そのまま使える便利な表現方法を学ぶことで、実用的な英語プレゼンテーション技術を修得できるようにする。			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (G2), JABEE 目標 (f)
(1) 英語プレゼンテーションの表現が理解できる。(定期試験と課題)			
(2) 簡単な英語プレゼンテーションができる。(定期試験と課題)			
(3) 海外の英語放送を視聴して内容の概略が理解できる。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	第一部 プレゼンテーションの準備 1. プレゼンテーションの組立て 2. スライドの作成 3. 台詞の作成	各回の授業は以下の手順で行う。 ○Website にて海外放送局の最新ニュースを視聴することで耳を慣らす。 ○Website にてスクリプト付き英語放送を視聴することで文章と発音が一致するよう演習する。 ○教科書に従って、英語プレゼンテーションの表現を学ぶ。 ○幾つかの表現を組み合わせて簡単なプレゼンテーションを行う。 授業内容は以下の視点で行う。 ○実際の国際学会での研究発表を念頭に、プレゼンテーションの準備やあいさつ、自己紹介に始まって、質疑応答までを網羅する。 ○具体的な状況に応じた例文を紹介する。	【理解の度合い】
2	第二部 プレゼンテーションの表現 1. あいさつ, 自己紹介 2. イントロダクション 3. ボディー		
3	3.1 説明する 3.2 状況を伝える		
4	3.3 論拠を示す 3.4 検討する		
5	3.5 意見を言う 3.6 視点を変える		
6	3.7 話を戻す 3.8 強調する		
7	3.9 確信する 3.10 重要性を主張 3.11 必要性を主張 3.12 仮定する 3.13 特徴を言う 3.14 比較する 3.15 類似相違 3.15 表やグラフ		
8	4. コンクルージョン		
9	後期中間試験	○後期期末試験では、プレゼンテーションを行い、英語で質疑応答を行う。	【試験の点数】 点
10	後期中間試験の解答と解説		【理解の度合い】
11	第三部 質疑応答 1. 質問する／答える		
12	2. 聞きなおす／言い直す		
13	3. 賛成する／反対する		
14	4. 確認する／保留する		
15	プレゼンテーション試験の準備		
16	後期期末試験	口頭発表・質疑応答	【試験の点数】 点
17	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		講義中に分からなければその場で分かるまで質問すること。	【総合達成度】
教 科 書		藤井 正嗣, 野村 り子「英語でプレゼン—そのまま使える表現集」, 日興企画	
参 考 図 書		平井通宏,「エンジニアのための英語プレゼンテーション 超克服テキスト」, 旺文社	
自学上の注意		英語になるべく多くの時間触れること。目標は年間 1000 時間。	
関 連 科 目		英語 A, 工業英語 I, プロジェクト演習Ⅱ (専攻科), 現代英語Ⅰ (専攻科), 現代英語Ⅱ (専攻科)	
総 合 評 価		達成目標の(1)～(3)について、2回の定期試験(計 80 点)と課題の評価(計 20 点)の合計で評価する。総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は総合評価が 60 点に満たない学生に実施する。	【総合評価】 点